



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>

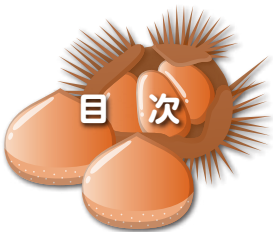


<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

いっぱい穫れたよ 大きな大きなサツマイモ



(写真：石動きらりこども園の子供たち)



8月臨時会	2
9月定例会	
補正予算の概要	2
議長・副議長就任挨拶、審議経過等	3
審議議案・議員別賛否状況	4

議員構成	5
代表・一般質問	6～12
委員会報告、議長交際費	12
行政視察報告、次回議会日程等	13
会務報告、編集後記	14

「議会報告会 ～withコロナ時代を迎えて～」開催のお知らせ

事前申し込みは必要ありませんので、どうぞお気軽にお越しください。

- 日 時 令和3年11月26日(金) 午後7時～午後8時
- 場 所 市民交流プラザ／津沢コミュニティプラザ
総合保健福祉センター／東蟹谷公民館 (同日4会場で開催)
- 内 容 ①議会からの報告 ②「コロナ対策」に関する意見交換

8月臨時会

8月24日に8月臨時会を開催し、議案1件（財産の取得について）が提案され、原案のとおり可決しました。

8月臨時会の 審議経過

24日 全員協議会

議会運営委員会

本会議（提案理由説明・

質疑・討論・表決）



8月臨時会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議決結果	林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭
その他 議案第33号 財産の取得について ・GIGAスクール構想に係る小中学校新JIS規格機の購入	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○ <small>議長は表決に 加わりません</small>	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会

9月1日から17日までの17日間を会期として9月定例会を開催しました。9月定例会では、市長から令和3年度小矢部市一般会計補正予算、条例の一部改正、小矢部市教育委員会委員の任命同意についてなど議案7件、議員から議員提出議案2件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

なお、令和2年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び令和2年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など8議案については、新たに設置した決算特別委員会にて12月まで継続審査することになりました。

また、健全化判断比率の報告についてなどの報告を2件受けたほか、請願2件を審議しました。

◎ 9月補正予算の概要

議案第34号 令和3年度小矢部市一般会計補正予算（第4号）
補正額 3億7,788.6万円 累計予算額 139億1,635.3万円

《主な事業》

- ・戸籍住民基本台帳事務費 1,120 万円
個人番号カードの交付率の向上及び申請体制の強化に係るもの
- ・児童福祉対策費 295.1万円
子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業の拡充
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業費 3,131.6万円
接種期間延長に係る追加経費及び医療機関に対する協力金の支給
- ・商工業振興対策費 2,310 万円
プレミアム付商品券発行事業及びまちなか等振興事業への補助
- ・情報教育環境整備事業費 2,453.2万円
タブレット端末の家庭学習用ACアダプター及び特別教室の電子黒板の整備

議案第35号 令和3年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 5,733.9万円 累計予算額 28億8,923.9万円

《主な内容》 決算の確定に伴う財政調整基金積立金の増額

議案第36号 令和3年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 61.8万円 累計予算額 9億1,931.8万円

《主な内容》 決算の確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額

議案第39号 令和3年度小矢部市一般会計補正予算（第5号）

補正額 2,200 万円 累計予算額 139億3,835.3万円

《主な事業》

- ・商工業振興対策費 2,200 万円
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金及び飲食業関連事業者支援給付金の支給

※補正予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。

議長 就任 あいさつ 副議長



議長 (第53代) 吉田 康弘
よしだ やすひろ



副議長 (第58代) 義浦 英昭
よしうら ひであき

このたび、令和3年9月議会におきまして、議員の推挙により、小矢部市議会議長並びに副議長に就任させていただきました。

市民生活や地域経済等に多大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症は今なお猛威を振るい、県内においても過去最大の感染拡大が続いています。このようなときこそ、市民の皆様の声に耳を傾け、しっかりとその声を市政に反映させるとともに、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取り組みを迅速かつ的確に推進するよう努めていくことが、私たち議員の責務であると考えております。また、人口減少対策や公共施設の老朽化問題など、かねてより本市が取り組むべき様々な課題に対しても、市当局と力を合わせて全力を尽くして取り組んでまいりたいと考えております。

議会の果たすべき役割を十分認識し、本市の未来をより明るいものとするため、「対話と協調」をモットーに、最善の努力を尽くす決意でございます。市民の皆様方には、これからもご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長・副議長就任のあいさつといたします。

9月定例会の 審議経過

(会期17日間)

- 1日 本会議
- 3日 議会運営委員会
本会議(提案理由説明)
- 6日 議会調査日
全員協議会
- 7日 議会調査日
- 8日 議会調査日
- 9日 議会運営委員会
本会議(提案理由説明)
全員協議会
- 10日 本会議(代表・一般質問)
- 13日 地域活性化特別委員会
民生文教常任委員会
- 14日 公共施設再編特別委員会
総務産業建設常任委員会
決算特別委員会
- 15日 議会改革協議会
- 16日 議会調査日
議会運営委員会
委員長会議
全員協議会
- 17日 本会議(質疑・討論・表決他)

特別委員会の設置

特定の付議事件を審査又は調査するため、次の特別委員会を設置しました。

決算特別委員会

令和2年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など8議案を審査するため設置しました。

(委員11名)

人事案件

◎小矢部市教育委員会委員の任命同意

塚崎 志津江 氏(津沢)

◎小矢部市公平委員会委員の選任同意

沼田 市郎 氏(蓮沼)



9月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山口秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭	
補正予算	議案第34号	令和3年度小矢部市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	×
	議案第35号	令和3年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	令和3年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決																
	議案第39号	令和3年度小矢部市一般会計補正予算(第5号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
条例の改正	議案第37号	小矢部市水道事業給水条例等の一部改正について ・上下水道料金に係る検針・徴収間隔の見直し及び月の中途使用に係る下水道使用料の見直しのため、関係条例の所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○										×
人事	同意第2号	小矢部市教育委員会委員の任命同意について	同意	○	○	○	○	○	○										○
	同意第3号	小矢部市公平委員会委員の選任同意について (人事案件の概要は3ページを参照ください)	同意	○	○	○	○	○	○										○
請願	請願第2号	コロナ禍によるコメの過剰在庫の解消と米価下落対策を求める意見書の採択の請願 請願者 農民運動富山県連合会 小矢部班 代表 辻 慶輝(紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	○
	請願第3号	再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)を求める意見書提出の請願 請願者 日本国民救援会 砺波支部 支部長 中島徳郎 他 (紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	○
意見書	議員提出議案第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第3号	コロナ禍における積極的な米価下落対策を求める意見書 (内容については小矢部市議会ホームページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません

9月定例会で継続審査とされた議案

その他	議案第38号	令和2年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について ・地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定により、剰余金の処分を行うもの。
決算認定	認定第1号	令和2年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
	認定第2号	令和2年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
	認定第3号	令和2年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定第4号	令和2年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
	認定第5号	令和2年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算
	認定第6号	令和2年度小矢部市水道事業会計決算
	認定第7号	令和2年度小矢部市下水道事業会計決算

9月定例会で報告された事項

財政状況	報告第4号	健全化判断比率の報告について
	報告第5号	資金不足比率の報告について

議 会 議 員 構 成

議 長	吉田 康弘 <small>よしだ やすひろ</small>	副 議 長	義浦 英昭 <small>よしうら ひであき</small>
総務産業建設常任委員会委員	委員長 加藤幸雄 <small>かとうゆきお</small> 委員 出合和仁 <small>で あいかずひと</small> 砂田喜昭 <small>すな た よしあき</small>	副委員長 竹松豊一 <small>たけまつとよかず</small> 義浦英昭 <small>よしうらひであき</small> 石田義弘 <small>いしだよしひろ</small>	嶋田幸恵 <small>しまだゆきえ</small> 沼田信良 <small>ぬまだのぶよし</small>
民生文教常任委員会委員	委員長 山室秀隆 <small>やまむろひでたか</small> 委員 谷口 巧 <small>たにくち たくみ</small> 中田正樹 <small>なかだまさき</small>	副委員長 林 登 <small>はやし のぼる</small> 吉田康弘 <small>よしだ やすひろ</small> 藤本雅明 <small>ふじもとまさあき</small>	白井 中 <small>しらい なる</small> 福島正力 <small>ふくしましよりき</small>
議会運営委員会委員	委員長 沼田信良 委員 山室秀隆	副委員長 石田義弘 加藤幸雄 藤本雅明	嶋田幸恵
公共施設再編特別委員会委員	委員長 石田義弘 委員 竹松豊一 砂田喜昭	副委員長 出合和仁 加藤幸雄	白井 中 嶋田幸恵 沼田信良
地域活性化特別委員会委員	委員長 藤本雅明 委員 林 登	副委員長 谷口 巧 山室秀隆 義浦英昭	福島正力 中田正樹
決算特別委員会委員	委員長 白井 中 委員 林 登 石田義弘	副委員長 山室秀隆 竹松豊一 嶋田幸恵	出合和仁 沼田信良 谷口 巧 砂田喜昭
議会だより編集委員会委員	委員 山室秀隆	加藤幸雄 吉田康弘	藤本雅明 石田義弘

議 会 選 出 委 員 等

監 査 委 員	福島正力				
小矢部川中流水害予防組合議会議員	竹松豊一	出合和仁	加藤幸雄		
砺波地方衛生施設組合議会議員	林 登	谷口 巧	加藤幸雄		
砺波地方介護保険組合議会議員	山室秀隆	藤本雅明	白井 中	沼田信良	
砺波地域消防組合議会議員	義浦英昭	福島正力	石田義弘	嶋田幸恵	
高岡地区広域圏事務組合議会議員	山室秀隆	福島正力	中田正樹		
民生委員推薦会委員	山室秀隆	義浦英昭			
国民健康保険運営協議会委員	藤本雅明	石田義弘	嶋田幸恵		
上水道審議会委員	山室秀隆	義浦英昭	沼田信良		
公害対策審議会委員	出合和仁	谷口 巧	山室秀隆		
都市計画審議会委員	竹松豊一	谷口 巧	加藤幸雄	藤本雅明	白井 中
交通安全対策協議会委員	義浦英昭				
ケーブルテレビ放送番組審議会委員	吉田康弘				
小矢部市土地開発公社理事	竹松豊一	谷口 巧	義浦英昭		
公益財団法人クロスランドおやべ理事	林 登	竹松豊一	藤本雅明		

令和3年9月17日現在

◎8月の大雨による市内の被害状況と対応について
 ◎コロナ禍に於ける小矢部市の対応について
 ◎脱炭素社会に向けた小矢部市の対応について

谷口 巧 議員
 会派「誠流」



▶動画配信中

代表質問

質問 8月中旬の大雨による被害状況・復旧状況と昨年7月から通行止めになっている安楽寺地内の県道286号の状況を問う。

市長 市道への土砂崩れが4路線あったが、8月18日までに復旧した。また、田のり面の一部崩壊が名ケ滝、千石地内で発生していた。名ケ滝地内は崩土の除去により復旧が完了し、千石地内は、国庫補助による災害復旧事業により対応予定である。荒間地区の地滑りは、通行止めの市道が2路線、農地や田、荒間神社境内地など広範囲に被害が及んでいる。対策として、県による地滑り対策事業が実施され、地滑りの動きの停止が確認された後、国庫補助による災害復旧事業を実施する予定である。安楽寺地内の県道286号については、県へ確認したところ、令和4年度中の完成を目指すとの回答であった。

計画における最大の被害想定に基づき備蓄している。また、防災意識の向上に向け、出前講座や防災研修会を実施し、さらには、日頃からの訓練が何よりも大切であるとの認識の下、より実践的で多彩な視点に立った市総合防災訓練を実施している。ハード面の対策として、市内7カ所の土石流危険渓流において土石流対策工事を実施している。

質問 新型コロナウイルス感染症対策とワクチンの接種状況を問う。

市長 人流の増加や感染リスクの高まりを防ぐため、当面の間公共施設の臨時休館を行った。また、市民の方や事業者にはホームページや防災緊急メール等を通して、感染防止対策をお願いしている。ワクチンの予約率は、8月末で約81%であり、今後は、未接種の方には文書を送付し、接種をお願いしていきたい。

質問 小中学校におけるクラスター対策について問う。

市長 一番重要なことは、学校へのウイルスの持ち込みを防ぐことであり、校内だけではなく、家庭でもさらなる感染症対策を

依頼している。万が一、クラスターが発生した場合は、県厚生センターなどと連携を図り、必要な対策を行っていく。

質問 コロナ禍における伝統芸能継承への支援について問う。

市長 感染症が市内各地の祭りや伝統文化に及ぼしている影響を把握し続け、行事等が再開できる状態になった時点において必要とされる支援等について検討していきたい。

質問 4度目のプレミアム付商品券発行事業について問う。

市長 市商工会では、消費拡大につなげることを目的にダブルチャンス抽選を行う。事業の周知及び販売方法は市民の方にとって分かりやすく、利用しやすいものとなるよう工夫して実施したい。

質問 2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明する予定はあるのか。

市長 ワンチームとやまでの検討結果を踏まえながら、地方公共団体実行計画の区域施策編の策定とともに、ゼロカーボンシティの表明について、早急に取

り組んでいきたい。

質問 脱炭素社会の実現に向けた施策の実施について問う。

市長 導入や利活用を含め、先進事例等を調査研究し、実現可能性や手法等を慎重に検討していきたい。また、全国小水力発電大会等への参加など、様々な機会を捉え、最新情報の収集に努めたい。

質問 アメリカの自動車メーカーの電気自動車充電施設は、高性能で維持管理もメーカーで行ってくれる。設置を検討してはどうか。

市長 本市の負担なく設置でき、充電を目的とした新たな観光客の掘り起こしが期待できることが、メリットとして考えられることから、施設の応募・設置条件等の調査研究を進めたい。



電気自動車充電施設

- ◎新型コロナウイルス対策の対応と今後の取組みについて
- ◎婚活支援事業について
- ◎本市と大学連携協定の将来展望について

会派「市民報徳会」
出合 であい 和仁 かずひと 議員



▶動画配信中

【質問】 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えた対応と集団接種会場の終了の時期について問う。

【市長】 季節性インフルエンザのワクチン接種については、10月より市内医療機関で接種可能となるよう準備を進めている。市内医療機関への負担軽減を考慮すると、二つのワクチン接種の時期ができる限り重ならないことが大切と考えており、集団接種会場については10月下旬頃の終了を見込んでいます。

【質問】 新型コロナウイルス支援施策の費用対効果について問う。

【市長】 新型コロナウイルス感染症対策として国、県からの各種補助金、地方創生臨時交付金、市単独の事業などにより、感染症拡大防止策、家計や生活困窮者への支援、地域経済の回復、ポストコロナに向けた対応など幅広く対応してきた。感染拡大防止対策は、市内感染者が県内で最も低い水準であることから、一定の効果ができていると考えている。家計や生活困窮者への効果は見えないが、プレミアム付

商品券の発行状況や換金状況など経済への対策などを含め判断すると、地域経済の下支えに一定の効果が表れていると受け止めている。また、ケーブルテレビ光ファイバー整備事業や小中学校の一人一台のタブレット端末や電子黒板の導入など情報教育環境整備を含むポストコロナに向けた事業対応が前倒しできた。今後、これらの事業の推進や完了とともに、その費用対効果が証明されていくと考える。

【質問】 結婚支援事業の現状について問う。

【市長】 平成24年度より「おやべ縁結びの会」を立ち上げ、ボランティアの方に、サポート登録された男女の希望に沿う方の選定や引き合わせ、当日の立会い、その後のフォローまでをサポートいただいている。その他支援活動として個別の結婚相談セミナー、婚活イベントを実施している。また、高岡地区広域圏ではボランティア同士の情報交換は砺波市や南砺市とは婚活情報等を掲載したチラシを共同作成し、婚活支援事業PRに努めている。

【質問】 行政が行う婚活事業はより信頼と安心感がある。多くの方に利用してもらいたいと考えますが、今後の進展について問う。

【市長】 より多くの方にサポート登録していただき、相談することにより抵抗がある方でも気軽に利用できるように、今後、ZOOMなどオンラインを活用した婚活相談にも取り組んでいきたい。

【質問】 本市との大学連携協定の現状と成果について問う。

【市長】 北陸大学とは平成27年に地域社会の発展と人材育成を目的に包括連携協定を結び、学生による経済波及効果等の分析調査の実施や、大学教授を生涯学習講座の講師として招く事業、インターシップの受け入れ等を行っている。また富山大学、富山県立大学、富山国際大学等とは「地（知）の拠点大学による地方創生事業」に関する協定を締結しており、市内企業経営者や市職員を講師として派遣し、学生に自身の体験や理念を伝える地域ライフプラン講座を行っている。大学と連携して取り組むことにより人的・知的資源が

十分に活用されるとともに、市内での定住や就職に効果があると思込んでいる。

【質問】 小矢部園芸高校など本市にしかない施設や人材、特徴や利点を活用し、互いに大きなメリットや可能性が広がる新たな大学連携協定が必要だと考えるが、見解を問う。

【市長】 小矢部園芸高校は他に類を見ない特色ある高校であり、本市にとっても大きな財産であると認識している。大学連携に本市の強みや特徴が含まれることになればより実践的で深化したものになると思う。小矢部園芸高校と大学の連携については、ホッケーでのつながりも含めて、東京農業大学と何らかの交流ができないか模索中である。



婚活イベントの様子

- ◎SIB（ソーシャルインパクトボンド）を活用した介護予防事業の展開について
- ◎農業振興と中山間地域の振興
- ◎小中学校における新型コロナウイルス感染症に関する対策について



林 登 議員



▶動画配信中

質問 ソーシャルインパクトボンドについて、本市の認識を問う。

総務部長 成果運動型の民間委託と民間資金の活用を組み合わせた手法と認識しており、将来的には有効な手法の一つと認識している。

質問 コロナ禍を踏まえてどのように介護予防を進めていくのか。

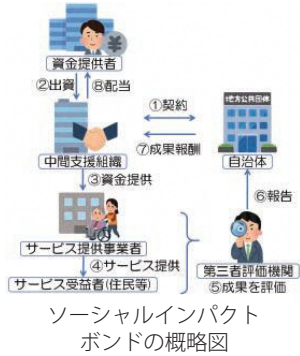
民生部長 感染予防対策を徹底した上での事業の実施または会場に集まらなくても効果が得られる介護予防事業の実施について、官民連携による社会課題解決の仕組み等も含めて手法の調査研究に努めたい。

質問 令和3年産米概算金の大幅な減額について、どのように受け止めているか。

産業建設部長 今後、米のさらなる価格下落が生じる場合は、農業経営に支障が生じ、地域農業の継続が危ぶまれる事態である。

質問 「富富富」のPRについて本市の戦略を問う。

産業建設部長 本年10月頃から県内小中学校の学校給食で



「富富富」の提供を予定している。8月には、アウトレットモールで「富富富」を用いて作った笹寿司の販売を行い、農産物特産品としてPRを展開した。

質問 オンライン授業の体制はいつ頃できるのか。

教育長 10月上旬までには、全小中学校において、試験的にオンライン授業、またはそれに準じた取組を実施する予定である。

質問 光回線による通信環境を新たに整備するご家庭に、例えば1世帯1万円を上限に補助してはどうか。

教育長 通信環境が整っていないご家庭へ貸し出すルーターは、子供たちが家庭学習やオンライン授業で使う速度、容量に十分耐え得るものであり、光回線の整備促進対策は考えていない。

- ◎新型コロナ感染拡大による学校教育について
- ◎公共施設のトイレ洋式化について
- ◎成年年齢引き下げについて
- ◎ダイバーシティの推進について



竹松 豊一 議員



▶動画配信中

質問 コロナ禍において、文科省が策定した学校休校ガイドラインと、国が配布する抗原検査簡易キットについての見解を問う。

教育長 新たなガイドラインを本市の対応基準に追加した。簡易キットは9月中旬に110セットが配布され、本人及び保護者の同意を得てその活用を図っていく。

質問 コロナ禍でのオンライン授業への見解を問う。

教育長 オンライン授業等の実施が有効と考えており、早期に市内全小中学校において、試験的にオンライン授業または対面と組み合わせたハイブリッド型授業などの取組を実施していく。

質問 中学3年生の宿泊を伴う修学旅行を中止としたが、代替案と小中学校の行事についての見解を問う。

教育長 日帰りで県内実施を検討し、その他の行事は児童生徒の安全を最優先し、学校と協議・判断していく。

質問 市役所の女子トイレは洋式化率が低く、数も少ない。優先的に洋式化を進

市長 幸い本庁舎1階の女子トイレは、便器を取り替えるだけで整備できるので、速やかに整備するよう指示をした。今後は2階から5階も女子トイレを優先して洋式化整備をしていきたい。

質問 成年年齢が20歳から18歳に引き下げた後の成人式への見解を問う。

教育長 成年年齢の引き下げに伴う成人式は、次回の総合教育会議において協議・確認を行い、公表する。

質問 ダイバーシティの推進について、市が率先して職場内で推進することが必要と考えるが見解を問う。

副市長 本市でもダイバーシティの推進は必要であり、女性や障害者の活躍に向け、採用や人材の登用など人事管理の面でも取組を推進している。働き方改革を進める中でも、意識の醸成に取り組んでいきたい。

一部の自治体では、小中学校での授業がすでに始まっています。

- ◎市職員の来庁される市民への接遇について
- ◎防災対策の取り組みについて
- ◎ふるさと納税の取り組みについて



白井 中 議員



▶動画配信中

質問 職員の来庁される市民への接遇について問う。

総務部長 「あつたか窓口日本一」を目指し、接客マニユアルを作成するとともに、窓口職員を中心に定期的に接遇研修を実施する等市役所全体の接遇能力の向上に取り組んでいる。

質問 備蓄体制の見直しについて問う。

総務部長 市地域防災計画で市内避難者を1万3千313人と見込み、2日分の食料8万食分の確保を目標としている。主な食料品としてビスケット、アルファ米、おかゆ等がある。他にも、段ボールベッド、簡易トイレ、紙おむつ、女性用生理用品等を備蓄している。また、コロナ禍での避難所運営を想定し、新たにマスク、消毒液、防護服を整備した。

質問 防災士の現況と課題について問う。

総務部長 登録をいただいている防災士数は84人である。このうち女性防災士は11人で、今後の課題として女性防災士の養成に力を入

れていく必要がある。

質問 ふるさと納税の実績について問う。

企画政策部長 令和2年度の寄附実績は3千240万円で前年度の約2倍である。

質問 寄附する方の心をよさぶる取り組みとなるよう強化すべきである。

企画政策部長 これまで出身者協会の会員へのダイレクトメールの送付や、職員自らが直接、市外に居住する親戚・知人等へふるさと納税の呼びかけを行う等の取り組みを実施した。引き続き、他市に負けないよう寄附額1億円を目標に、意欲や熱意が伝わる取組を推進したい。また、返礼品の紹介や伝え方などの更なる工夫や改善に取り組み、本市の知名度向上と税源確保の一助となるよう今まで以上に一層強化していきたい。



小矢部市のふるさと納税返礼品

- ◎市民交流プラザについて
- ◎交通安全対策について
- ◎寿永荘解体について
- ◎市民をとり巻く生活環境問題について
- ◎小矢部本庁舎維持管理について
- ◎防災備蓄品管理について



嶋田 幸恵 議員



▶動画配信中

質問 寿永荘の役割、解体時期、今後の介護予防、跡地利用について問う。

市長 寿永荘は49年にわたる高齢者の健康増進、交流の場や地域の憩いの場としての役割を担ってきた。今後のスケジュールは、市社会福祉協議会において決定し、最終的に解体処分となる。介護予防ミニデイいずみの園は、引き続き社協が行い、市保健福祉センター2階タワリーの湯跡で、来年4月から開始できるよう改修準備を進めている。寿永荘解体後の跡地は、市総合計画に位置づけているとおり公園整備に向けて順次整備を進めていきたい。

質問 交通安全計画について、市のホームページには交通安全基本計画の第10次計画までが載っているが、交通安全推進計画が掲載されていないのはなぜか。

民生部長 ご指摘のとおり、交通安全対策を推進する上で、市民の皆様のご理解とご協力は大変重要である。令和3年度交通安全推進

計画については、速やかに市ホームページに掲載する。

質問 防災備蓄品の管理について、防災訓練時に配るだけではなく、備蓄品の充実のためにも市民の声が届くようアンケートを実施してほしい。また、フードドライブのように有効活用できる管理システムを構築してほしい。

総務部長 フードドライブ、高齢者への備蓄品の配布は、破棄処分を避ける有効な手段の一つである。今後、備蓄品全般については、有効活用する管理システムの構築に向けて、先行自治体の手法等を参考に検討したい。また、備蓄品を提供している地区防災会、防災研修会などの参加者に対してアンケートを実施し、住民の皆様のご意見を基に防災備蓄品の充実を図っていきたい。



夏の交通安全県民運動の様子

- ◎ホッケーの現状、課題と将来展望について
- ◎市の管理する公園について
- ◎稲葉山牧野のブラッシュアップについて
- ◎野焼きの禁止とゴミ処理支援について
- ◎小中学校の学力テストについて



加藤 幸雄 議員



▶動画配信中

質問 ホッケーの課題と将来展望について問う。

教育委員会事務局長 競技人口の減少が課題である。ホッケーへの市民の関心を高めるため、ユニホックの普及、

日本トップレベルの大会の開催支援やケーブルテレビなどの放映を引き続き実施したい。また、ホッケーの海外交流については県及び市ホッケー協会と協議しながら進めていく。

質問 市が管理する公園の現状と維持管理における市民協働について問う。

産業建設部長 現在の公園施設は76か所あり、令和2年度の管理費は4千566万円で平成29年度に比べ約1千800万円の減、30%縮減している。公園の良好な維持管理には市民協働が欠かせない。今後、協力いただける団体から申し出があれば共に市民協働のまちづくりを推進し、来園者に親しまれる公園となるよう努力したい。

質問 稲葉山牧野のブラッシュアップについて問う。

産業建設部長 稲葉山牧野の入



稲葉山牧野

込客数はコロナ前が6万7千人、令和2年度は5万4千人と2割減となっている。稲葉山は魅力あふれる風景が眺望できる恵まれた観光資源であり、観光機能の充実は経営の自立と安定化とあわせて検討したい。

質問 野焼きの禁止と支援について問う。

民生部長 野焼きは平成13年4月から禁止されており、市では燃えるごみとして週に2度回収している。高齢等によりごみステーションへの排出が困難な方にはケアネットサービスの利用や地域包括支援センターへの相談をお願いする。

質問 小中学校学力テストについての見解を問う。

教育長 順位を競うことが目的ではない。弱点を把握して今後の指導につなげていくことに意義がある。

- ◎令和3年産米価下落について
- ◎生活道路の安全対策について
- ◎サマーレビューの目的、効果について



山室 秀隆 議員



▶動画配信中

質問 令和3年産米価下落による市内農家の損失状況について問う。

産業建設部長 ナラシ対策等の補てんを抜きにすると主食米では約3億7千万円、加工用米で約620万円、備蓄米で約3千300万円の損失を見込んでいる。主食用米作付面積20haの標準的な担い手農家であれば約370万円の損失を見込んでいる。

質問 ナラシ対策等の補助金は翌年3月から6月に支払われるが、早期支払いなど市独自の下落対策を問う。

産業建設部長 下落の要因は農業者の経営努力では避けられないコロナ禍によるものと考えられ、補助金の早期支払いなどはじめとする色々な支援について、今後、国・県に対して働きかけを実施し、農業者の所得安定の確保に努めたい。

質問 交通量が多く、歩道のない道路の外側線に沿ってグリーンペイントを引き、ドライバーに注意喚起してあるのを市外で見したが、本市でも引くことが可能か。



つり革広告

産業建設部長 県公安委員会に確認したところ、道路交通の安全対策のひとつとしてカラー舗装等を活用する方法。市外では市内でも実施可能である。

質問 コロナ禍において、市長は「ピンチをチャンスに変える」絶好のチャンスとして「テレワークするなら小矢部市」をキャッチフレーズに、山手線につり革広告を計画しているが、進捗状況を問う。

企画政策部長 つり革広告は10月10日から4週間の実施に向け、現在、デザイン等の最終調整段階である。感染拡大により電車利用者の減少が心配されたが、減少は1割程度にとどまっており、何よりも地方への移住意識が高まっている今が、絶好のチャンスと捉え、取り組んでいる。

- ◎ヤングケアラーについて
- ◎ごみ問題について
- ◎道路整備について



石田 義弘 議員



▶動画配信中

質問 ヤングケアラーについて、本市の実態を問う。

民生部長 情報提供を受け、要保護児童等として実態を把握するとともに、見守りを行っている事例がある。

質問 ヤングケアラーの子供たちに対する支援や今後の対応について問う。

民生部長 支援を始めるには、子供たちの生活実態を把握することが何よりも大事であり、今後とも関係機関と連携し、ヤングケアラーの早期発見に努めたい。

また、子供たちが相談しやすい環境を構築することで、心のケアにつなげ、学校等とも連携を図り、よりよい支援につなげていきたい。

質問 ごみのポイ捨てに対する市の対応を問う。

民生部長 市不法投棄監視員による巡回、自治会へポイ捨て禁止看板の配付を行うとともに、通報を受けた際には速やかに現場確認し、ごみの回収を実施している。

質問 市環境センターの混雑解消に向けて動線を一方通行にしてはどうか。

民生部長 動線を一方通行にするためには、出口にトラックスケール及び計量事務所を設置する必要があり、相応の財源が必要となることから、今後、総合計画等において十分に検討していく必要がある。

質問 国・県に対する道路整備の重点要望について、進捗状況を問う。

産業建設部長 国に対しては、以前から国道8号の整備促進の要望を行っており、令和2年度から桜町遺跡交差点の急勾配区間において、事故対策や冬季の登坂不能車に対する対策の調査が行われている。県に対して要望していた都市計画道路寄島西中野線についても、今年度から県営事業により施工されることとなった。事業の早期完成が図られるよう引き続き国・県に強く働きかけていきたい。

ヤングケアラーとは、想定される家事や家族の世話を日常的に行っている子供のことをいいます。



ヤングケアラーとは、想定される家事や家族の世話を日常的に行っている子供のことをいいます。

一般質問

- ◎コロナ禍における今後の行政の対応について
- ◎コロナ禍における学校の対応について
- ◎市民の安心・安全、交通安全対策について



中田 正樹 議員



▶動画配信中

質問 コロナ禍で、行動の自粛、外出の機会が減少している。高齢者へのサポート、介護予防事業の実施状況を問う。

民生部長 健康に少なからず影響が出ていることから、フレイル対策体操、物忘れ相談会など、高齢者の介護予防、啓発に努めている。

質問 感染状況にもよるが、年明けには3回目の接種が進む中、集団接種の終了時期についての見解を問う。

市長 今後の予約状況や接種実績等を踏まえ、接種を希望する市民が概ね予約を済ませていると判断できる時点で決定する。その後の接種体制については、市医師会と協議を進めている。

質問 的を射た施策、本当に困っている人への支援が必要である。新たな経済的支援、施策の検討を求める。

民生部長 生活資金、景気浮揚、税制面に関する様々な支援を進めているが、ご指摘のとおり、真に必要な方へ行き届くことが重要で

あり、効果的な施策を検討する。

質問 児童生徒と接する学校関係者や教職員等は、特段の事情がない限り、全員ワクチン接種が望ましい。

教育委員会事務局長 学校関係者の8割の方が特設会場で接種された。残る2割の方は他会場で接種されたが、個人の判断で未接種である。強制ではないことも踏まえつつ、未接種の方には、引き続きワクチン接種への理解を求めていく。

質問 今後、児童生徒へのワクチン接種が進む。学校や教職員には、未接種の子供への十分な配慮を求める。

教育委員会事務局長 ワクチンを接種できない事情を抱えた子供への理解、偏見や差別がないよう、各学年に応じた指導を行っている。今後も、繰り返し十分に配慮した指導に努めていく。

フレイルとは日本語で「虚弱」という意味です。コロナフレイルにならないために、適度な運動を心がけましょう。



フレイルとは日本語で「虚弱」という意味です。コロナフレイルにならないために、適度な運動を心がけましょう。

- ◎気候危機を打開する2030戦略について
- ◎ジェンダー平等社会をめざすことについて
- ◎コロナ対策について
- ◎不登校問題と中1ギャップについて
- ◎子ども医療費の現物給付拡大について
- ◎災害対策について



砂田 喜昭 議員



動画配信中

質問 世界各地で異常気象が大問題になっている。国連IPCCは温室効果ガス排出を2030年までに45%削減し、50年までにゼロを目標にしているが、日本政府の目標は低すぎる。地球温暖化対策実行計画は国の目標よりも低く、取り組み内容も消極的であり、見直すべきでないか。

民生部長 国の通知があり次第見直しを検討したい。

質問 国待ちにならず、今回の補正予算で庁舎の窓枠の取り替え費用を計上しているが、断熱効果の高い二重ガラスにすればどうか。

総務部長 費用を抑えるため、安価なシングルガラスで予算提案している。

質問 気候変動対策の本気度が問われている。環境省が公共施設の屋根への太陽光パネル設置に支援を行う話もあるので、市も手をあげてはどうか。

総務部長 本庁舎の耐震改修の際に、パネル設置を具体的に検討したい。

質問 雇用面での女性差別



カーボンニュートラルへの取り組みは、SDGsへの取り組みにもつながります。

がジェンダー平等の根幹にある大問題である。非正規を含めた日本の男女格差は、40年働く場合の生涯賃金で女性は男性より1億円も少ない。これを是正し、正社員が当たり前の働き方に改善する必要がある。保育、介護、教育の場での非正規職員の実態を問う。

民生部長 保育士は正職員が55人、会計年度任用職員が66人で全員女性である。介護職のデータは把握していない。

教育委員会事務局長 市雇用の会計年度任用職員は60名で、男性5%、女性95%である。

質問 コロナ対策でワクチン接種の促進に加え、県外出張した方や学校などを対象に大規模PCR検査を実施する必要はあるか。

民生部長 検査の有効性や費用対効果、先進自治体の事例を調査研究したい。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

総務産業建設常任委員会

一点目は、プレミアム付商品券発行事業をはじめとする各種経済対策について、コロナ禍で苦境に立つ市内事業者に行きわたるよう実施すること。また、事業者の声を聴きながら、しっかりと検証を行い、引き続き、必要な支援について検討すること。

こと。また、ワクチン接種率の高い高齢者層に対しては、公共施設を開放するなど社会参加や交流の促進に努めること。

二点目は、公共施設の感染症対策を徹底すること。なお、非接触型体温測定器など感染症対策の備品購入について、公共施設の利用実態を踏まえた適正な仕様や数量となるように、慎重に検討すること。

三点目は、個人番号カードの普及促進について、交付率向上に努めること。また、個人番号カードやマイナンバー等の制度について情報発信を行い、制度周知を図ること。

民生文教常任委員会

一点目は、新型コロナウイルス接種について、若年層の接種率向上を図る

三点目は、防災士について、災害への備えや避難所運営等において、女性からの視点も重要であり、女性防災士を積極的に養成し、各地区の地域防災力の向上を図ること。

令和3年度 議長交際費支出内訳表

令和3年4月～令和3年9月 (単位:円)

区分	件数	金額	備考
1 慶弔・見舞費	6	142,330	
① 御祝・寸志	0		祝賀会、記念行事、大会祝い金等
② 激励金	3	111,000	全国大会出場激励金等
③ 見舞・香典	3	31,330	香典、生花等
2 協賛費	4	21,720	各種協賛費等
3 会費・懇談会費	0		各種団体との会議、懇親会費等
4 その他	9	53,342	訪問時・来客時記念品、お土産等
合計	19	217,392	
令和3年度予算額		1,100,000	
執行率		19.76%	

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

閉会中委員会開催状況

総務産業建設常任委員会

8月2日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 雪害でガードレールなどの損傷を直してほしいという話がいつていたと思うが、どういわけかまだ直っていない。修繕の予算が足りなくなったのか。

回答 除雪によって壊れたものの修繕については、基本的には必要なものは全部直すという方向で業者に発注し、危険度の高いものから直していただいている。予算の執行状況については、すでに修繕が終わって請求がきたものだけで道路修繕費全体の46%、約半分近くを使っており、9月議会で補正をお願いしたいと考えている。

民生文教常任委員会

8月5日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 中学3年生の修学旅行の予定と対応について問う。

回答 現段階では10月初旬に1泊2日の計画を進めている。ただし、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえての対応とな

り、事前に行う保護者へのアンケートで、保護者の8割の同意がないと修学旅行は実施しないという提案を含め協議している。

公共施設再編特別委員会

8月6日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 旧東蟹谷保育所グラウンド敷地が売却になったが、あと残りの部分はどうのように考えているか。

回答 建物とその敷地部分が残っている。例えば、不動産鑑定価格が正式に評価を行う等条件が整い次第、次のステップへ進んでいきたい。

地域活性化特別委員会

7月27日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

意見 フロンティアパークの分譲地はなくなったが、今後どのように企業誘致されるのか。

回答 今後の企業立地の方向性は、企業誘致の過程において、相手方に進出候補地を選出したとき、市が地元、地権者、例えば農振除外の手続きなどの仲介をとりながら進めていく、いわゆるオーダーメイド方式で企業誘致を進めていきたいと考えている。

行政視察報告

正副議長と議会改革協議会理事会にて、議会改革に関する先進的な取り組みを調査・研究することを目的に、オンライン行政視察を実施しました。

【日程】 8月27日

【視察先】 三重県鳥羽市

【委員名】 藤本雅明 加藤幸雄
沼田信良 福島正力
砂田喜昭 嶋田幸恵
白井 中 吉田康弘
義浦英昭 山室秀隆

TOBAミライトックについて

平成28年11月から議会報告会の新たな形として「TOBAミライトック」を開始されました。市民団体等に申請いただき議員を派遣する手上げ方式、テーマに沿った意見交換による地域課題の共有、グループディスカッション方式での対話など創意工夫を凝らし、議会報告会の参加者数の減少、参加者の固定化等の課題解決に向けて取り組みでおられました。

● 通年会期について

緊急時等に議長権限で速やかに会議を開くことが可能である通年会期制度について、運用方法や実績、制定までの流れ、メリット・デメリットなどを伺い、意見交換を行いました。



12月定例会の日程(予定)

- 3日(金) 10時 本会議(提案理由説明) 全員協議会
- 6日(月) 議案調査日
- 7日(火) 議案調査日
- 8日(水) 議案調査日
- 9日(木) 9時 議会運営委員会
- 10日(金) 10時 本会議(代表・一般質問) 10時 本会議(一般質問)
- 13日(月) 10時 地域活性化特別委員会 14時 民生文教常任委員会
- 14日(火) 10時 公共施設再編特別委員会 14時 総務産業建設常任委員会
- 15日(水) 10時 議会改革協議会
- 16日(木) 議案調査日
- 17日(金) 10時 議会運営委員会 13時 全員協議会 15時 本会議(質疑・討論・表決) 委員長会議

※オレンジ色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。



会務報告

令和3年6月25日から令和3年8月31日まで

年月日	件名	摘要	開催地
3. 7. 2	令和4年度重点事業要望	・小矢部土木事務所 ・高岡農林振興センター	市内、高岡市
	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	・令和2年度事業報告及び歳入歳出決算について ・令和3年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	クロスランドおやべ
7. 5	令和4年度重点事業要望	・富山県庁他	富山市
7. 6	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	・令和2年度事業報告及び歳入歳出決算について ・令和3年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	高岡市
7. 8	令和4年度重点事業要望	・富山河川国道事務所 ・あいの風とやま鉄道(株)	富山市
7.12	国道359号改修促進期成同盟会総会	・令和2年度事業報告及び歳入歳出決算について ・令和3年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について ・役員改選及び規約の改正について	砺波市
7.14	議会だより編集委員会	・第202号発刊について	第二委員会室
7.19	小矢部川中流水害予防組合議会	・令和2年度歳入歳出決算について ・令和3年度歳入歳出予算について	特別会議室
7.20	令和4年度重点事業要望	・北陸地方整備局	新潟市
7.21	全員協議会	・ネーミングライツ(施設命名権)の導入について他1件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・第202号発刊について	第二委員会室
7.26	令和4年度重点事業要望	・北陸農政局	金沢市
7.27	地域活性化特別委員会	・小矢部フロンティアパークへの企業立地について他1件報告	第一委員会室
	国道471号整備促進期成同盟会総会	・令和2年度事業報告及び歳入歳出決算について ・令和3年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について ・役員の選任について	南砺市
8. 2	総務産業建設常任委員会	・プレミアム付商品券事業の進捗状況について報告	第一委員会室
8. 5	民生文教常任委員会	・新型コロナウイルスワクチン接種に係る高齢者等移動手段確保事業について他1件報告	第一委員会室
	富山県市議会議長会臨時総会及び県知事との懇談会	・令和2年度会務報告 ・令和2年度歳入歳出決算 ・北信越市議会議長会評議員会提出議案	高岡市
8. 6	公共施設再編特別委員会	・消防器具置場の取組状況等について他3件報告	第一委員会室
8.10	砺波地方衛生施設組合議会定例会	・令和2年度砺波地方衛生施設組合一般会計歳入歳出決算の認定及び監査委員の選任について	高岡市
8.17	議会運営委員会	・令和3年8月臨時会提出議案等について	第二委員会室
8.24	全員協議会	・令和3年8月臨時会提出議案について ・8月13日から15日にかけての大雨に係る被害について他2件報告	第一委員会室
	議会運営委員会	・令和3年8月臨時会議案第33号の発言通告及び採決方法について審議	第二委員会室
	本会議	・令和3年8月臨時会議案第33号について議決	議場
	議会運営委員会	・令和3年9月定例会提出議案等について	第二委員会室
8.25	砺波地方介護保険組合議会定例会	・令和3年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算(第1号)他3議案及び認定3件等	砺波市
	砺波地域消防組合議会定例会	・令和3年度砺波地域消防組合一般会計補正予算(第1号)他1議案及び認定1件等	
8.27	議会改革協議会理事会 オンラインによる行政視察(鳥羽市議会)	・TOBAミライトークについて ・通年会期について	第二委員会室

編集後記

新型コロナウイルス感染症の発生から早2年近く、これからは第6波が起きないよう備えが大切かと思えます。コロナが私たちに気づかせてくれたことは、新しい生活様式への対応とデジタル化への遅れではないでしょうか。議会では2年前にタブレットを導入し、連絡や議会審議資料の配信等もすべてタブレットで実施しており、紙媒体はほとんどありません。県内の感染状況をはじめとする様々な情報もタイムリーに共有し、情報伝達の迅速化と事務の合理化にも大きく寄与しています。今後は行政のデジタル化が課題です。議会では11月26日に各中学校下で、2年ぶりに議会報告会を開催します。市民の皆様と忌憚のない意見交換ができることを願っております。

(議会だより編集委員 加藤記)

次回の「議会だより」は、令和4年2月の予定です。

発行：小矢部市議会 編集：議会だより編集委員会
 〒932-8661 富山県小矢部市本町1番1号
 ☎07666(67)1760(内線32) FAX07666(68)0194